

初年度入試の経過と結果について

1. 出願者数

確定した有効出願者数は、未修者 637 名、既修者 568 名でした。募集人員に対する出願倍率は、未修者で約 21 倍、既修者で約 8 倍でした。

2. 合格者の属性

最終合格者数は、未修者 37 名、既修者 79 名でした。男女別、出身学部別、経歴（社会人か否か）別の数と割合は、次表のとおりです。

	合計			他学部(法 学部出身者 以外)内数	社会人内 数	他学部また は社会人 内数
	合計	男	女			
未修者	37	28(76%)	9(24%)	22(59%)	22(59%)	30(81%)
既修者	79	59(75%)	20(25%)	7(8.9%)	14(18%)	18(23%)
合計	116	87(75%)	29(25%)	29(25%)	36(31%)	48(41%)

最終合格者の年齢構成は、次表のとおりです

年齢構成⇒	20代	30代	40代	50代	平均年 齢
未修者	24	13	0	0	28.4
既修者	66	12	0	1	26.2
合計	90	25	0	1	26.9

最終合格者の出身校（学部）別内訳は、次表のとおりです。

未修者（37人）

東京大学	8人
慶應義塾大学	6人
早稲田大学	5人
一橋大学	4人
京都大学	2人
千葉大学	2人
神戸大学	1人
国際基督教大学	1人
ワシントン大学	1人
中央大学	1人
筑波大学	1人
東京芸術大学	1人
東京理科大学	1人
名古屋大学	1人
北海道大学	1人
立教大学	1人

既修者（79人）

一橋大学	27人
東京大学	13人
慶應義塾大学	11人
早稲田大学	9人
中央大学	6人
上智大学	3人
同志社大学	2人
東京都立大学	2人
青山学院大学	1人
京都大学	1人
東北大学	1人
日本大学	1人
法政大学	1人
明治大学	1人

3. 最終合格者の外部試験成績

最終合格者の外部試験（適性試験、英語、法学既修者試験）成績について、各試験の平均点、最高点、最低点は次表のとおりです。

未修者（37人）

	適性試験	英語*	
		TOEIC	TOEFL(CBT)
平均点	84.1	797.8	256
最高点	92	960	293
最低点	78	565	197

*TOEIC29人、TOEFL8人。

既修者（79人）

	適性試験	英語*		既修者試験5科目合計
		TOEIC	TOEFL (CBT)	
平均点	80.1	754.2	204.6	38.9
最高点	95	990	280	47
最低点	62	510	103	29

*TOEIC74人、TOEFL5人。

4. 入学者の属性

入学者数は、未修者32名、既修者71名でした。その男女別、出身学部別、経歴別の数と割合は、次表のとおりです。

	入学者数計	男	女	他学部出身	社会人	他学部又は社会人
未修者	32	23(72%)	9(28%)	22(69%)	19(59%)	27(84%)
既修者	71	52(73%)	19(27%)	5(7%)	13(18%)	16(23%)
合計	103	75(73%)	28(27%)	27(26%)	32(31%)	43(42%)

入学者の年齢構成は、次表のとおりです。

	20代	30代	40代	50代	平均年齢
未修者	20	12	0	0	28.4
既修者	60	10	0	1	26
合計	80	22	0	1	26.7

入学者中、一橋大学（学部）の出身者と他大学（学部）の出身者の数と割合は、次表のとおりです。

	一橋大学出身者	他大学出身者
未修者	4(12.5%)	28(87.5%)
既修者	27(38.0%)	44(62.0%)
合計	31(30.1%)	72(69.9%)

5. 英語成績証提出をめぐる経緯

一橋大学法科大学院の初年度入学試験においては、全出願者にTOEICまたはTOEFLの成績証を直送方式によって提出することを求めました。しかし、募集要項で発表した出願期間の後半になって、英語成績証の提出が間に合わない出願希望者が相当数生じました。このような事情に鑑みて、出願希望者の受験機会を確保するために、当初発表した出願期間を延長するとともに、出願者の手元にある成績記録を仮の証明書として扱う措置をとるに至りました。

この経験を活かして、次年度以降は同種の問題を生じさせないように、英語成績の提出方法を改善するための検討を現在進めています。